

夏山のかたなれば
温泉のわくところ

ま昼ひろくて
私ひとり
あふれる湯



中原中世記念館

山頭火 & 湯田温泉

SANTŌKA
YUDAONSEN

平成二十九年度企画展 I

大橋小橋
ほうたろぼたろ



おいこまして
葉ざくらの
かげが
たがくすすく



あかるくあつく
あふれる湯にひとり
おせいで



一羽来て
啼かない鳥である



画:さじまやすえ

Date 会期 2017年 4月19日(水) ~ 7月23日(日)

Place 会場 中原中也記念館
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21
☎083-932-6430 / ☎083-932-6431

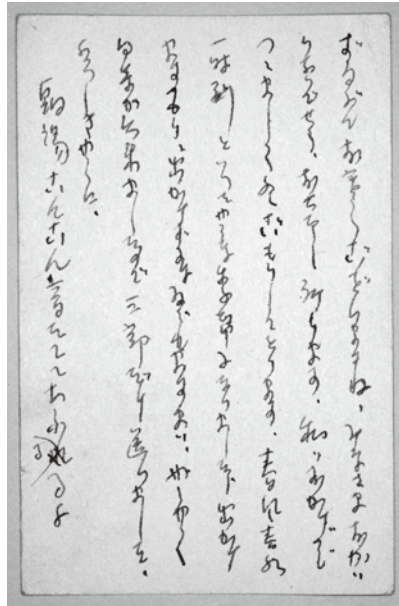
- 【入館料】 一般320円(270円) 大学・高等専門学校の学生 210円(162円)
70歳以上、18歳以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
- 【開館時間】 5月~10月:午前9:00~午後6:00(入館は5:30まで)
11月~4月:午前9:00~午後5:00(入館は4:30まで)
- 【休館日】 毎週月曜日(5月1日・7月17日は開館)、7月18日、毎月最終火曜日
- 【主催】 公益財団法人山口市文化振興財団

山口県防府市出身の俳人・種田山頭火は、昭和七年、山口市の小郡に「其中庵」を構えます。温泉好きの山頭火は、頻繁に湯田温泉に通い、湯田にまつわる句をたくさん残しています。その後、湯田温泉に移住し「風来居」を結庵。中世の弟・呉郎や詩人・和田健らと深い親交を結びました。本展では、山頭火と湯田温泉との関係を探り、あわせて中原家との接点にも迫ります。

山頭火と湯田温泉 Santoka & Yuda-onsen



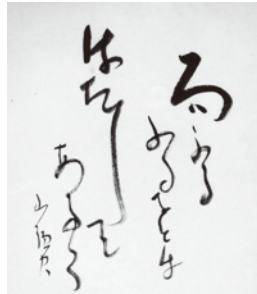
昭和13年、中原家にて
前列:山頭火 後列:(右より)詩人・福富忠雄、詩人・和田健、中也の母・フク、中也の妻・孝子(撮影:林進)



いけはらきよみんどう
池原魚眠堂宛 種田山頭火はがき
湯田温泉の風来居時代(昭和14年1月23日)の発信。
文面の最後に「朝湯ごんごん音たててあふるるよ」という句が書かれている。
(会期中、展示替えあり)



昭和初期の湯田温泉街(戦前の絵はがきより)



種田山頭火色紙
「雨ふるふるさとははだしであるく」。
湯田温泉の旅館、西村屋蔵。
風来居時代に揮毫(きごう)したもの。
(会期中、展示替えあり)

関連展示 狐の足あと

『山頭火ほろ酔い足あと展』 2017年4月1日(土)～6月30日(金)

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」でも山頭火に関する展示を開催します。

Event



山頭火×中也×モノづくり「手ぬぐいワークショップ」

展示を見学したあと、スタンプを使ってオリジナルの手ぬぐいを作ります。

日程:6月3日[土] 【1回目】13:30～15:00 / 【2回目】16:00～17:30

場所:中原中也記念館(参加者は入館無料)

●定員:各回先着6名(要事前申込) ●参加費:800円

講師

ワークショップ:田吹東悠(ファラボ山口)

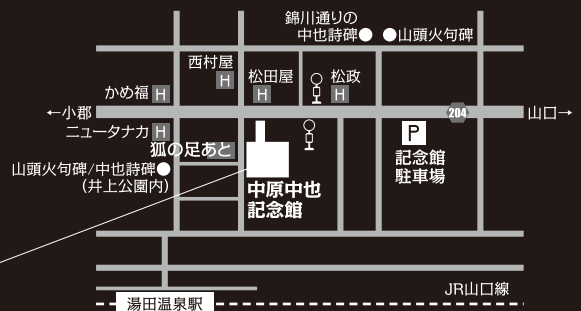
展示解説:原 明子(中原中也記念館学芸担当)



【入館料】
一般 320円(団体270円)
大学・高等専門学校の学生 210円(団体162円)
70歳以上、18歳以下 無料 ※団体料金は20名以上

【開館時間】
5月～10月:午前9:00～午後6:00(入館は5:30まで)
11月～4月:午前9:00～午後5:00(入館は4:30まで)

【休館日】
毎週月曜日(5/1・7/17は開館)、7/18、毎月最終火曜日



中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21 <http://www.chuyakan.jp/>
TEL.083-932-6430 FAX.083-932-6431

*専用駐車場は、中也記念館から山口市街地方面に向かって徒歩5分(約200m)の場所にあります。

Access

【自動車】中国自動車道山口ICから 約7km 約15分
山陽自動車道防府東ICから 約20km 約30分
【電 車】新山口駅よりバスで20分 湯田温泉バス停より徒歩1分
山口線・湯田温泉駅より 徒歩10分